

「痛くないのかな？」 ウオノコバン



マタナゴに寄生するウオノコバン *Nerocila* sp.
全長約 2.5cm

平成 28 年 2 月 8 日、フナムシに似た不思議な寄生虫が羽田D滑走路周辺海域の刺網で獲れたマタナゴの尾鰭に付いていました。

魚の寄生虫に詳しい小川 和夫先生(公財 目黒寄生虫館館長)に問い合わせたところ、ウオノコバン(魚の小判)という寄生虫であることが判りました。

ウオノコバンは海水魚の尾鰭に寄生することが多く、皮膚を食害するとのことでした。

寄生虫を外そうと強く引っ張りましたが取れません。かなり、強く付いているようでした。

それにしても、寄生されたマタナゴは痛くないのでしょうか？

